

新宗連青年会

新宗連加盟教団の青年組織が集まり、1961(昭和36)年、新日本宗教青年会連盟(新宗連青年会)を結成しました。新宗連総支部組織と歩調を合わせ、全国で草の根の活動を展開しています。



千鳥ヶ淵戦没者墓苑での「8.14式典」

毎年8月14日に「戦争犠牲者慰霊並びに平和祈願式典(8.14式典)」を開催し、その祈りと「絶対非戦」の誓いを行動の原点として、さまざまな活動をしてきました。その一環として、1974(昭和49)年から、先の大戦を見つめ直す「アジア青年平和使節団」の派遣を現在まで継続しています。

さらにフォーラムなどを開催し、青年相互の学習や啓発にも努めています。災害時にはボランティアを派遣し、被災地の復興や被災者支援、慰霊祭など、教団の垣根を越えて活動しています。



ユースフォーラムー長崎市の浦上天主堂で平和を祈念(2018年7月)

主な歩み

- | | | |
|-------------|-----------|--------------------------------------|
| 1951(昭和26)年 | 10月17日 | 新日本宗教団体連合会、結成 |
| | 12月22日 | 初の総支部として近畿総支部、結成 |
| 1952(昭和27)年 | 4月 7日 | 日本宗教連盟に加盟 |
| | 5月 5日 | 『新宗教新聞』創刊 |
| 1961(昭和36)年 | 11月26日 | 新日本宗教青年会連盟(新宗連青年会)結成 |
| 1962(昭和37)年 | 4月29日 | 第1回戦没者合同慰霊並びに平和祈願式典(後の8.14式典)を開催 |
| 1974(昭和49)年 | 3~4月 | 第1次東南アジア青年平和使節団(アジア懺悔行)を派遣 |
| | 5月 | 「靖国神社法案」阻止のため1,360万人の署名を集める。法案は翌月、廃案 |
| 1981(昭和56)年 | 8月 9日 | 全国に11総支部が整う |
| 1982(昭和57)年 | 1~5月 | 核兵器廃絶・軍縮推進署名活動と平和行進並びに平和集会を実施 |
| 1988(昭和63)年 | 3~8月 | 第3回国連軍縮特別総会(SSDⅢ)に向け署名活動、ニューヨークで平和行進 |
| 1991(平成3)年 | 2月 | 湾岸戦争難民の民間機による移送救援活動 |
| 1995(平成7)年 | 1月 | 阪神・淡路大震災の被災地支援活動 |
| 2003(平成15)年 | 2月 15日 | イラク情勢を憂慮し「平和を祈る集い」開催 |
| 2004(平成16)年 | 1月 | 地球温暖化防止「電力ダイエット運動」を開始 |
| | 11~12月 | 新潟県中越地震の被災地支援活動 |
| 2005(平成17)年 | 10月24~26日 | 終戦60年「平和への巡礼」を実施(広島・長崎・沖縄) |
| 2006(平成18)年 | 5月 | 自殺対策の法制化を求める署名活動に協力 |
| 2009(平成21)年 | 2月 | 生命倫理問題を考える「生命倫理研究ノート」を作成し配布 |
| 2011(平成23)年 | 3~7月 | 東日本大震災の被災地支援活動 |
| 2012(平成24)年 | 4月 1日 | 公益財団法人に移行 |
| 2016(平成28)年 | 5~7月 | 熊本地震の被災地支援活動 |
| 2017(平成29)年 | 11月23日 | 北朝鮮情勢を憂慮し「すべてのいのちを尊ぶ集い」を開催 |
| 2018(平成30)年 | 7~12月 | 西日本豪雨の被災地支援活動 |
| 2019(令和元)年 | 10~12月 | 台風15号・19号・21号の被災地支援活動 |
| 2021(令和3)年 | 10月17日 | 結成70周年式典を開催 |

公益財団法人 しん にっ ぽん 新日本宗教団体連合会 (新宗連)

〒151-0053 東京都渋谷区代々木5-57-10
電話 03-3468-5551 FAX 03-5465-7888
URL <http://www.shinshuren.or.jp>



新宗連

2021年 結成70周年
今、そして未来につなぐ
信仰の力と光



公益財団法人

しん にっ ぽん

新日本宗教団体連合会

新宗連とは

しん にっぽん
新日本宗教団体連合会(新宗連)は1951(昭和26)年10月17日、戦後の混乱の中で「新しい日本を創る」との強い意志のもと、「信教の自由」の堅持と世界平和の実現、人類福祉の増進に寄与することを目的に、結成しました。新宗連は、加盟教団それぞれがお互いの教義や信条の違いを認め合い、70年余にわたり活動してきました。



1951年10月17日、結成の会合(PL教団東京公館)

新宗連スローガン

- 信教の自由を守ろう
- 信仰心を広めよう
- 宗教協力を進めよう
- 世界の平和に貢献しよう

現在では仏教系、神道系ほかさまざまな宗教団体57教団(2022年4月現在)が加盟。また、全国に地方組織(総支部・協議会)があり、宗教協力活動の裾野は幅広いものとなっています。

社会の課題と向き合う

新宗連では、加盟教団が宗教協力を通して社会の課題に向き合い、平和運動や地球環境保全、自殺防止、人権、政治問題などに対応し、数多くの運動・活動を展開してきました。

専門の委員会・機関である信教の自由委員会や宗教法人研究会などで、日頃から調査研究を進め、学習会を開催しています。また、宗教の信頼回復のため相談事業にも取り組んできました。



核兵器廃絶・軍縮を訴え25,000人が参加した平和集会(1982年5月16日、新宿副都心)

新宗連では、宗教・宗派を超えて加盟教団が戦争や災害による犠牲者の慰霊・平和祈願などを行っています。これらの祈りに基づいてさまざまな行動を展開しています。



東日本大震災慰霊並びに復興祈念祭(2011年9月16日、宮城県石巻市)

宗教協力の広がり

新宗連は、全国を11の地域に区分し総支部を組織し、さらに各総支部が包括する都府県地区に協議会を設置しました。



沖縄宗教者の会主催の「祈りと平和の集い」で共に祈りを捧げる(2019年8月15日、糸満市・平和祈念堂)

総支部・協議会では各地域の特性・条件を生かした平和学習会や慰霊祭、奉仕活動など草の根の宗教協力を進めるとともに、加盟教団外の宗教団体とも交流を図っています。

新宗連は、新宗教の代表として教派神道連合会、全日本仏教会、日本キリスト教連合会、神社本庁とともに日本宗教連盟を構成する団体となっています。



西日本豪雨ではWCRP日本委員会と協働しボランティア活動を実施(2018年8月、広島県三原市)

このほか世界宗教者平和会議(WCRP/RfP)の創設に関わるなど、国内外の宗教協力組織との連携を進めてきました。